

ユニバーサル農業推進シンポジウム～農業でつながる地域の多様な人材～を開催しました！

2月1日(月)、栃木県のユニバーサル農業の取組や今後の展開について、県内農業者や福祉関係者、関係団体等と情報の共有を図るため、シンポジウムを開催しました。

先ず、基調講演として、宇都宮大学の山根教授から「ユニバーサル農業のこれまでとこれから」について、県内外のさまざまな事例を踏まえ、ご講演をいただきました。

また、株式会社ハコニワ・ファームの與良氏と島田氏から、「農福連携×地方創生×起業家」と題して、利用者が中心となる養鶏事業での経験を踏まえ、生産物の高付加価値化への工夫や障害者それぞれの性格や特性を理解することの重要性などについてお話しをいただきました。

さらに、株式会社エイジェックファームの荘司氏より、「スポーツや福祉等の人材が参画する農業の展開」と題して、人材派遣会社としての強み生かし、多様な人材が活躍するとともに、廃校を活用した農業の展開についてお話しをいただきました。

その後、事例を踏まえたディスカッションにより、農福連携やユニバーサル農業の取組方向や可能性について、参加者の皆さまと意見交換を行いました。

今回の講演や参加者の皆さまからいただいたご意見を参考に、栃木県では引き続きユニバーサル農業を推進していきます！



左から與良だいち氏、荘司拓紀氏、山根健治氏、島田利枝氏